

会議録

会議の名称	令和3年度第3回守谷市地域包括支援センター運営協議会			
開催日時	令和3年10月26日(火) 開会：午後1時30分 閉会：午後2時50分			
開催場所	守谷市役所 全員協議会室			
事務局(担当課)	保健福祉部 健幸長寿課			
出席者	委員	城賀本会長、星野会長代理、高橋委員、宇野委員、柏崎委員、岩佐委員、吉沼委員、堀込委員、坂本委員、宮原委員、本台委員、齋藤委員 計12名		
	その他	守谷市南部地域包括支援センター 石塚管理者、木村保健師 計2名 守谷市北部地域包括支援センター 山下管理者、根本保健師 計2名		
	事務局	稻葉保健福祉部次長兼健幸長寿課長、市村健幸長寿課課長補佐、宮下係長、平井係長 計4名		
公開・非公開の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部公開	傍聴者数	1人	
公開不可の場合はその理由				
会議次第	1 開会 2 あいさつ 3 報告事項 (1) 令和2年度守谷市地域包括支援センター決算報告について (2) 熱中症予防訪問報告について (3) 事例報告について 4 その他 5 閉会			

確定年月日	会議録署名
令和3年11月16日	城賀本 満登

審　議　経　過

- 1 開会
- 2 あいさつ【城賀本会長】
- 3 報告事項
 - (1) 令和2年度守谷市地域包括支援センター決算報告について
令和2年度守谷市地域包括支援センター決算報告について、事務局、北部地域包括支援センター、南部地域包括支援センターから説明した。

【主な意見等】

委 員： 介護予防のケアプランは、委託包括でも1人で担当するのは10件と上限があるのですか。また、実際、受け手としては10件という数をどのように感じていますか。

事 務 局： 委託時の条件として、3年間の契約期間中は介護予防支援分のケアプラン作成は1人10件とさせていただいている。

北部包括： 最大10件ですが、他の業務もあるので、個人的には5名前後がちょうどよい人数と考えます。

南部包括： 北部同様10件持つと他の業務に支障をきたすので、5～6名がちょうどよいと感じています。

委 員： 市としては今後も踏まえどのような見解ですか。

事 務 局： 高齢者の増加に伴い要支援認定者も増えています。要支援者のプランは手間がかかる割に報酬が安く、居宅介護支援事業所の皆さまはご苦労されています。ただ、包括支援センターには、アウトリーチ型で働きかけていただいているので、介護保険になる前の高齢者の相談もたくさん受けていただいている。やはり職員1人が10件を担当するとそういった相談の対応、調整が難しくなるので、できるだけプランについては包括から居宅介護支援事業所に委託し、包括支援センターとしてやるべき総合相談業務に力を入れていただきたいという願いです。

(2) 熱中症予防訪問報告について

事務局、北部地域包括支援センター、南部地域包括支援センターから熱中症予防訪問について報告した。

【主な意見等】

委 員： きれいな外観の家だが問題を抱えているというのはどんなことですか。

北部包括： 外観は庭も含めきれいに整えられていたのですが、室内がかなり荒れている家があったので、外から見えるところだけでは分からぬこともありますので注意していこうと思いました。

会長： 子どもが同居しているが困難事例とあるのはどういうケースですか。

南部包括： お子さんが病気や障害を抱えているために、高齢の親との関わりがほとんど見られなかつたケースです。

委員： 資料No.3－1の当初依頼件数と総計の件数の差はどういうことですか。

事務局： 6月上旬時点で依頼分の抽出をしたのですが、訪問までの期間に転出された方、介護保険の申請につながつた方、別のサービス利用の確認が取れた方を除いていったために差が生じています。

（3）事例報告について

事務局、北部地域包括支援センター、南部地域包括支援センターから事例報告について報告した。

【主な意見等】

委員： 民生委員からの情報、相談が多いようですが民生委員にはどこまでの介入、協力を求めるのですか。

北部包括： 民生委員さんからの相談は多く、介護保険サービスにつながるようなケースも相当数あります。見守りに関しては、ご負担にならない程度に、民生委員さんの見守りのタイミングにあわせていただきながら、気になること等がありましたらご連絡をいただきたいと思います。

会長： 地域のネットワークづくりは、地域包括支援センターから中心になって、行政を含めた関係機関との調整、連携を図るといったイメージですか。

地域ケア会議も地域ネットワークの一つなのでしょうか。

事務局： ネットワークには様々な社会資源があり、その一つに地域の民生委員、自治会の方も入っています。顔がつなげられるよう、各地区のまちづくり協議会の中に包括支援センターも入って顔を売り始めています。

総合相談と地域づくりは一体的であり、総合相談を担う地域包括支援センターが根幹となり、行政はつなぎをする後方支援に回ります。地域ケア会議や困難ケースは、地域包括支援センターが中心となって、関わりのある人を集めて会議を行っています。

委員： 事例の一部を今回出していただいていると思うのですが、対応中の相談はどれくらいあるのですか。

南部包括： 具体的な件数は今ここでは分かりませんが、ひと月に65件程度の相談があります。その日のうちに解決することもありますし、引き続き集中的に対応し、3ヶ月や半年を要するケースもあります。

会長： 警察通報、認知症初期集中支援チームへつなげるなど、御苦労されながらよく対応いただけたと思います。

事務局： 警察通報になったケースは、地区の会長さんから、経過段階からネットワークができ、見守り、専門機関へのつなぎができたケースで、市にも謝意がありました。高齢者の一人暮らしや高齢者のみ世帯がこの地域でもどんどん増えています。報告事項（1）の際にも話が上がったように、ネットワーク作りから地道に対応すると、時間が足りなくなってしまうのが現状です。

事務局： 議案には記載していなかったのですが、南部地域包括支援センターの活動報告を追加報告します。今年度地域に出向いて相談会等を開催するという計画がありました。先日、みずき野地区の秋を楽しむ会に参加し、相談会を実施したので、報告してもらいます。

南部包括： 緊急事態宣言が解除され、ようやく本腰を入れて活動できるようになったと感じています。今回、みずき野秋の会に参加し、介護相談会を実施しました。高齢者の困りごとを聞くだけでなく、包括支援センターを知つてもらえるよう参加しました。今後も同様の活動をしていきたいと思います。

委員： どんな相談があったのですか。

南部包括： 介護保険という言葉は聞いていても、内容や申請については理解されていないようで、介護保険の説明を中心に行いました。

事務局： 補足です。私もその会に参加していたので、どんな相談だったのか聞いたところ、夫婦2人暮らしで、家の段差解消のための住宅改修について、どんなふうにどこに相談していいのか分からなかつたというかたが、ここで相談されました。後日、市の作業療法士と同行訪問することになったそうです。

4 その他

（1）地域密着型サービス事業所「ご長寿くらぶ南守谷デイサービスセンター」の新規指定について

地域密着型サービス事業所「ご長寿くらぶ南守谷デイサービスセンター」の新規指定について介護福祉課から説明しご意見をいただいた。

【主な意見等】

会長： 老人ホームの併設施設ですが、入居者以外に利用者はいますか。

北部包括： 担当している利用者の方で、実際にご自宅から有料老人ホーム若しくはサービス付き高齢者住宅に併設されたデイサービスに通われている方もいます。

委員： デイサービスの需要と供給のバランスはどうなっていますか。

事務局： 以前と比較し、デイサービスの数は増えていますが、ケアマネジャーと居宅介護支援事業所が増えないので、ケアプラン作成は大変ですが、受け入れるデイサービスは充足されてきています。

会長： ケアマネジャーさんとして、デイサービスを利用者に紹介できないと困っている状態ではないということですか。

委員： そうですね。

(2) 次回の会議日程について

令和4年1月25日(火) 午後1時30分から開催予定。

5 閉会